

「食道癌化学療法患者のアバンド使用と有害事象の関連の検討」

研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

2023 年 4 月 1 日から 2025 年 6 月 30 日までに当院消化器外科（第一外科）で食道癌の治療を受けた患者さん。

2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2026 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用を開始する予定日

2025 年 10 月 1 日

4. 研究の目的

食道扁平上皮癌（esophageal squamous cell carcinoma：以下 ESCC）は食道に発生する悪性腫瘍で手術療法、化学療法、放射線療法などを組み合わせて治療を行います。その中でも化学療法はほとんどの食道癌の治療において必要不可欠です。しかし食道癌の化学療法は粘膜障害などからくる食欲不振、入院による筋肉量の減少がしばしば問題となります。

一方、栄養補助食品であるアバンド®は一般に創傷治癒や筋肉量維持を目的に使用されています。アバンド®は入院を余儀なくされる食道癌化学療法施行時に服用することで、粘膜障害の軽減や筋肉量を維持できる可能性があり、化学療法の継続やその後の手術加療の成績を改善する可能性があります。本研究では当科で食道癌の加療を行った患者さんの診療記録から情報を収集し、その有用性の検証を行います。

5. 研究の方法

以前に食道癌の加療を当院で行った患者さんの情報を当院で保管されている診療録から収集し、アバンド®の有用性を検証いたします。

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：診療録情報、検査データ 等

試料：該当なし

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

【研究責任者】

山梨大学 外科学講座第1教室 庄田勝俊

9. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

11. 利益相反について

外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、外科学講座第1教室の研究費を用いて実施します。この研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

山梨大学医学部外科学講座第1教室 学部内講師 庄田勝俊

〒409-3898

山梨県中央市下河東1110

山梨大学医学部 外科学講座第1教室

メール；kshoda@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-7390